

環境政策アドバイザーの委嘱について

■委嘱者

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 副理事長
村山 宣光 氏

【略歴】

- ・ 高山市出身
- ・ 京都大学大学院工学研究科電子工学専攻修士課程修了



■目的

科学・技術に広く精通しており、高山市に有益となる指導や助言を得られるため

■就任期間

令和6年8月8日～令和7年3月31日（次年度以降、年度毎に更新）

■助言・指導

脱炭素先行地域づくり事業における再生可能エネルギーの活用や2050市全域ゼロカーボンに向けた水素の活用などの検討を進める中で生じる課題や技術に応じた助言・指導

【助言・指導内容（令和6年8月8日）】

- ・ 新ごみ処理施設のごみ焼却発電で得られる電力の使用方法
- ・ ごみ処理施設における水素ステーション設置の先行事例紹介
＜青木環境事業株式会社（新潟市）＞
水素ステーションにおいて、焼却炉の廃熱を使用して作った電気で水を電気分解することで製造した水素を水素ステーション内で圧縮・貯蔵し、燃料電池フォークリフトの燃料として利用している。
- ・ ごみ処理施設から排出される二酸化炭素の分離・回収・有効利用技術紹介
＜佐賀市清掃工場＞
ごみ焼却時に発生する排ガスから回収した二酸化炭素の有効活用（ハウスにおける植物栽培や微細藻類の培養などへ利用）を進めている。
＜横浜市ごみ焼却工場＞
三菱重工グループ企業、東京ガス（株）と共同で、ごみ焼却工場の排ガス中に含まれる二酸化炭素を分離・回収し、資源として利活用する技術の確立に向けた実証試験を実施している。
- ・ 脱炭素先行地域づくり事業と連動した水素利用ビジョンの策定